

シンポジウム

Hall A: 3F バンケットホール真珠

ワークショップ

Hall B: 3F 茜

リバースピーチ

Hall C: 201 櫻

10月6日 (月)

10月7日 (火)

10月8日 (水)

10月6日 (月)

10月7日 (火)

10月8日 (水)

10月8日 (水)

シンポジウム Hall A: 3F バンケットホール真珠

10月6日 (月)

10:00-10:05

主催者挨拶

A001

登壇者

牧江 邦幸 - 日本経済新聞社 常務取締役メディアビジネス統括

10:10-10:30

基調講演

A010

登壇者

平 将明 - デジタル大臣

10:40-11:00

[単独講演] 過度な期待から真のビジネス価値へ：本当に成果を出すAIとは

A020

登壇者

ロマン・ド・ロービエ - ボストン コンサルティング グループ マネージング・ディレクター & シニア・パートナー

概要：AIは急速に進化を続けており、世界中の組織がその本来の可能性を引き出すべく競い合っています。しかし日本では、AI導入に依然として慎重な姿勢が見られます。ここで問われるべき本質は、「AIによってどこで、どのような測定可能な価値が生まれているのか」という点です。本セッションでは、AIに対する過剰な期待や誇張を乗り越え、実際にテクノロジーから価値を生み出しているリーダー企業の実状を明らかにします。さらに、成果を見いだせていない企業との違い、業界別の導入状況、そして企業がAIの進化を自社の成長に結びつけるために取るべきアクションについても詳細に解説いたします。

11:10-11:40

[対談] 人を拡張するAI ～保険ビジネスの未来を切り拓く知の共創

A030

登壇者

生田目 雅史 - 東京海上ホールディングス 専務執行役員 グループデジタル戦略総括

西川 徹 - Preferred Networks 共同創業者 代表取締役 最高経営責任者

概要：AIは人を代替するためのものではなく、人間の能力を拡張するために使われることが重要。その中で、経営判断など高次の業務遂行へのAI活用も現実味を帯びてくる。こうした取り組みによって、東京海上HDは、保険業界で何を実現できるか、ポジティブに議論したい。

11:50-12:20

[対談] 日本における責任あるAI：憲法AI、企業導入、国際標準

A040

登壇者

マイケル・セリット - Anthropic Head of Global Affairs

齋藤 ラッセル - 日本経済新聞社 SUM事務局 プロデューサー

13:00-13:20

[単独講演] アフラックが考えるAI共創時代の未来図

A050

登壇者

二見 通 - アフラック生命保険 取締役専務執行役員・CTO (チーフ・トランスフォーメーション・オフィサー)・CDIO(チーフ・デジタル・インフォメーション・オフィサー)

概要：DXの推進により、ステークホルダーへ新たな価値を提供することを目指して日々取り組んでいるアフラック。この講演では、生成AIを活用した新たな顧客体験の提供、業務効率化、社会的課題解決に向けたデジタルサービスの展開など、AI共創時代におけるアフラックのビジョンを明らかにします。また、AIエージェントやAGIなど、デジタルテクノロジーの進化がもたらす生命保険業界の変革に向けた取り組みについてもご紹介します。

13:30-14:20

[パネル] 責任あるAIと産業データスペース ～官民共創で築くトラストのあるデータ基盤の未来～

A060

登壇者

根本 拓 - 衆議院議員 自由民主党

守谷 学 - 経済産業省 商務情報政策局 情報経済課長

岡崎 禎 - 日本マイクロソフト 執行役員 常務 クラウド & AI ソリューション事業本部長

入江 直彦 - 日立製作所 インフラ制御システム事業部 シニアストラテジスト 日本経済団体連合会 産業データスペース検討委員会 委員

モデレーター

小倉 隆志 - リーテックス 代表取締役 武蔵野大学 客員教授

概要：AI時代のデータ利活用に不可欠な「産業データスペース」をテーマに、データ主権と信頼性確保の制度・技術に焦点を当てたパネルディスカッションを企画します。官民の連携による制度設計、国際的な枠組み、具体的ユースケース、信頼のための基盤構築について、国内外の動向も踏まえて各分野の専門家が議論し、安心してデータを共有・活用できる未来像を探ります。

14:30-14:50

[単独講演] AIエージェントで変わる業務改革 ～信頼性と成果をどう担保するか

A070

登壇者

秋場 良太 - 有限責任 あずさ監査法人 Digital Advisory事業部/金融アドバイザー事業部 ディレクター

AIエージェントの活用が急速に広がり、業務プロセスそのものをAI前提に見直す「業務改革（BPR）」が重要になっています。部分的な導入では効果が限定的であり、抜本的な改革こそが投資対効果を生みます。同時に、AIエージェント特有のリスクを管理し、信頼性を確保する仕組みが不可欠です。本セッションでは、SLM（小規模言語モデル）をAIエージェントとして採用した業務改革の新たな視点と、AIエージェントモニタリングの要点を解説します。

15:00-15:20

[単独講演] 経営はどこまでAIに委ねられるか

A080

登壇者

株田 達矢 - GenerativeX 執行役員

概要：生成AIの進展は、企業経営の在り方を根本から変えつつあります。とりわけAIエージェントは、単なる業務効率化の手段にとどまらず、意思決定の高度化や新規事業創出の基盤として、その役割を急速に拡大しています。本セミナーでは、国内外の大手企業における豊富な導入支援の経験を踏まえ、AIとの協働がいかに企業の競争優位を再定義し、経営の持続的成長を支えるのかを考察します。経営層が今押さえておくべき戦略的視座を提示し、次の一手を導く示唆を提供します。

15:30-16:20

[パネル] ソブリンAI時代の羅針盤 ～日本が目指すデータの自立と文化圏の創造

A090

登壇者

丹波 廣寅 - SB Intuitions 代表取締役社長 兼 CEO ソフトバンク 執行役員 次世代技術開発本部 本部長

岡野原 大輔 - Preferred Networks 共同創業者 代表取締役 最高技術責任者 Matlantis 代表取締役社長

鳥澤 健太郎 - 情報通信研究機構(NICT) フェロー

渡辺 琢也 - 経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課長 兼情報産業課 AI産業戦略室長

モデレーター

伴 正春 - 日本経済新聞社 編集局 記者

概要：米国の巨大テック企業が主導するAI開発に対し、日本やAPAC諸国は言語・文化の特殊性を強みとして、どのようにローカルAI戦略を構築し、勝ち筋を見つけていくのか。データの自立性を確保しながら、地域に根ざしたイノベーションを創出し、グローバルなAIエコシステムの中で独自の存在感を築くための羅針盤を提示する。

16:30-17:20

[パネル] 守る知財から攻める知財へ ～日本製造業の競争力を高める AI 戦略

A100

登壇者

石山 頼史 - トヨタテクニカルディベロップメント 知財ソリューション事業部 部長

白坂 一 - AI Samurai 代表取締役 弁理士法人白坂 創業弁理士

越前 功 - 国立情報学研究所 情報社会相関研究系 研究主幹・教授/シンセティックメディア国際研究センター センター長

柳澤 智也 - 特許庁 総務部 企画調査課 課長

モデレーター

福井 健策 - 骨董通り法律事務所 代表 弁護士

概要：生成AIが知的財産分野にもたらす脅威と機会を議論し、日本の強みである製造業が、知財を「守る」だけでなく、「攻めの戦略」として活用するための具体的な道筋を提示する。スタートアップと企業、学術、行政の視点からAI時代に勝ち抜くための知財戦略を多角的に描く。

17:30-18:20

[パネル] 「人間」x「AI」の未来図：新たなエンタメの可能性と日本の知財戦略 ※アーカイブ配信は実施いたしません

A110

登壇者

スペシャルゲスト

中原 裕彦 - 内閣府 知的財産戦略推進事務局長

國本 知里 - Cynthialy 代表取締役 Women AI Initiative Japan 代表理事

モデレーター

上田 敬 - 日本経済新聞社 編集 総合解説センター 担当部長

概要：エンターテインメントから社会変革まで、AIがもたらす未来について多角的に議論します。政府・行政の専門家やAIコンサルタントが加わり、エンタメ業界の最前線と政府の視点、そして専門家の知見が交錯し、人間とAIが共存する社会のあり方を掘り下げます。技術論に留まらず、人間らしい創造性や共感性といった要素をAIがどう補完し、拡張していくのか、またこうした新しいエンタメ活動を知財ビジネスとしてとらえたとき、どんな戦略が妥当なのか、その答えを探ります。

シンポジウム Hall A: 3F バンケットホール真珠			ワークショップ Hall B: 3F 茜			リバースピッチ Hall C: 201 櫻
10月6日 (月)	10月7日 (火)	10月8日 (水)	10月6日 (月)	10月7日 (火)	10月8日 (水)	10月8日 (水)

シンポジウム Hall A: 3F バンケットホール真珠

10月7日 (火)

10:00-10:20

[単独講演] AIはチャンスかリスクか？経営を守る「AIレッドチーミング」とは

A120

登壇者

薩摩 貴人 - KPMGコンサルティング 執行役員 パートナー

企業でAIの活用が急速に進む一方、プライバシーやサイバーセキュリティなどで新たなリスクが生じ、AIセキュリティの構築が喫緊の経営課題となっています。本セッションでは、AIセキュリティがなぜ重要か、その問題が社会にどのような影響を与えるかを解説するとともに、対策のカギとなる「AIレッドチーミング」と呼ばれる手法について解説します。

10:30-11:20

[パネル] メガバンク3社が見据えるAIエージェントによる金融業界変革の最前線

A130

登壇者

磯和 啓雄 - 三井住友フィナンシャルグループ 執行役専務 グループCDIO

江見 盛人 - 三菱UFJフィナンシャル・グループ 執行役員 グループCDO 兼 デジタル戦略統括部長

藤井 達人 - みずほフィナンシャルグループ 執行役員 デジタル戦略部 部長 兼 デジタル・AI 推進室長

島崎 征夫 - 金融庁 総合政策局参事官

桑原 茂雄 - GenerativeX 執行役員 CDXO

モデレーター

荒木 れい - GenerativeX 代表取締役 CEO

概要：金融業界はいま、AIを前提とした抜本的な変革を迫られています。従来のビジネスモデルや組織構造を根底から揺るがす構造変化のただ中で、メガバンク3社はどのように実践を積み重ね、どのような壁に直面しているのか。本セッションでは、3メガバンクのデジタル戦略を率いるトップエグゼクティブに加え、金融庁で政策企画を担う幹部が登壇。先進事例と直面する課題を率直に語り合い、金融変革の現在地と今後の行方を深掘りします。

11:30-11:50

[単独講演] AIエージェントで加速するお客様の資産価値最大化に向けた大和証券グループの取り組み

A140

登壇者

板屋 篤 - 大和証券グループ本社 執行役員 大和証券 常務取締役 大和総研 取締役

概要：大和証券グループは、貯蓄から資産形成へのグレートシフト、人生100年時代における資産運用ニーズに対応し、「お客様の資産価値最大化」を実現するため、最新のデジタルテクノロジーを全面的に活用しています。これまで、コンタクトセンターにおけるAIオペレーターの提供や、営業店におけるお客様対応の自動記録システム導入などを通じ、生成AIを活用したビジネス変革を進めてきました。「AIエージェント元年」といわれる2025年は、社内外から情報を収集し自律的にアクションを実行するAIエージェントを早期に取り込み、お客様の資産価値最大化に向けた取り組みを加速していきます。

13:00-13:20

[単独講演] Innovating for a Dynamic Future – 明日をダイナミックに生きる組織

A150

登壇者

ハリック・ヴィン - タタコンサルタンシーサービシズ シニアバイスプレジデント兼チーフテクノロジーオフィサー

概要：勝者は未来を予測するだけでなく、変化にいち早く適応します。テクノロジーの急速な進歩の中、それに対応する者だけが繁栄する時代。ダイナミックな組織は、新たな取り組み方を発見・採用し、顧客価値の新たな形を常に創出します。その実現には、(1)変化を予測する先見の明と、(2)変化に素早く適応できる組織設計という2つの能力を養う必要があります。本講演では、AIが働き方や企業の未来にどのような影響をもたらすと見ているか、またその過程における課題について考察します。

13:30-14:50

[プレゼン&パネル] 生成AI時代のコンテンツの未来

A160

【第1部 プレゼンテーション】

登壇者

岩本 義弘 - TSUBASA 代表取締役

「キャプテン翼から見る日本のIPの世界戦略」

小泉 格 - リーテックス 執行役員 CSO

「偽情報・誤情報対策としてのトラストの重要性」

和歌 伸介 - 三井物産コーポレートディベロップメント本部参与 デジタル金融チームリーダー

「小口アセットを収益化する ～フィンテックとファン・マーケティングの融合」

津田 啓夢 - bouncy 編集部 編集長 4X

「生成AIは危険性への対処から、可能性の発現へ」

中原 裕彦 - 内閣府 知的財産戦略推進事務局長

「官民共創イノベーションの道筋」

【第2部 パネルディスカッション】

パネリスト

岩本 義弘 - TSUBASA 代表取締役

小泉 格 - リーテックス 執行役員 CSO

和歌 伸介 - 三井物産コーポレートディベロップメント本部参与 デジタル金融チームリーダー

津田 啓夢 - bouncy 編集部 編集長 4X

中原 裕彦 - 内閣府 知的財産戦略推進事務局長

モデレーター

瀬川 奈都子 - 日本経済新聞社 総合解説センター・編集委員

概要：急速に進化・普及する生成AIによって、文章、画像、映像などのコンテンツのあり方が曲がり角を迎えている。技術の発展や様々なルール作りの議論によって、その登場に期待とともに強いアレルギー反応を見せていたクリエイターの受け止め方は変わってきただろうか。日本の貴重な知的財産と言えるコンテンツをただ保護するだけでなく、生成AIとの共存共栄を通じてその価値を最大化していくためのビジネススキームと共創のあり方について議論する。

15:30-16:20

[パネル] 「AI新法」制定が見据える日本の針路 ～官民連携で創出するイノベーション

A180

登壇者

恒藤 晃 - 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 審議官

三部 裕幸 - 渥美坂井法律事務所・外国法共同事業 パートナー弁護士 大阪大学 社会技術共創研究センター 招聘教授

羽深 宏樹 - 京都大学大学院法学研究科 特任教授 スマートガバナンス 代表取締役CEO /日本・ニューヨーク州弁護士

モデレーター

藤沢 久美 - 国際社会経済研究所 理事長

概要：グローバルなAI競争の中で、日本が独自の強みを活かしてイノベーションを創出し、国際的な存在感を示していくために必要な戦略は何か。先に成立した「AI新法」の意義とそれを受けた官民連携の具体的なあり方を議論する。

16:30-17:20

[パネル] AIが変える学びとキャリア ～日本の教育・人材戦略の未来図

A190

登壇者

小宮山 利恵子 - リクルート スタディサプリ教育AI研究所 所長 東京学芸大学大学院教育学研究科 教授

高橋 光太郎 - AVILEN 代表取締役

西川 奈緒 - 経済産業省 商務・サービスグループサービス政策課長兼教育産業室長

モデレーター

村山 恵一 - 日本経済新聞社 コメンテーター

概要：生成AIの急速な進化は、新卒採用の在り方から義務教育の履修科目まで、教育と人材育成の前提を大きく揺さぶっています。「学ぶべき内容」や「育成すべき力」は何か、日本の教育はどの方向へ進むべきか。政策・研究・産業界の多様な視点から、AI時代にふさわしい人材戦略と教育の未来像を描きます。

17:30-18:20

[鼎談] AIシンフォニー ～政策・技術・社会が奏でる未来協奏曲

A200

登壇者

安野 貴博 - 参議院議員 チームみらい党首

上野山 勝也 - PKSHA Technology 代表取締役

中西 豊紀 - 日本経済新聞社 NIKKEI Digital Governance編集長

概要：本セッションでは、政策、技術、そして社会実装の最前線に立つ三者が、AI時代の新たな協奏のかたちを議論します。ガバナンスとイノベーションを両立させながら、人間中心の持続可能な未来はどうすれば描けるか。AIが人間社会にもたらす価値と課題をもとに考えます。

シンポジウム Hall A: 3F パンケットホール真珠			ワークショップ Hall B: 3F 茜			リバースピーチ Hall C: 201 櫻
10月6日 (月)	10月7日 (火)	10月8日 (水)	10月6日 (月)	10月7日 (火)	10月8日 (水)	10月8日 (水)

シンポジウム Hall A: 3F パンケットホール真珠

10月8日 (水)

10:00-10:50

[パネル] 生成AI時代の投資戦略 ~VCが見据える未来

A210

登壇者

坂本 教晃 - 東京大学エッジキャピタルパートナーズ 代表取締役COO・マネージングパートナー

長野 泰和 - ANOBAKA 代表取締役社長

頼 嘉満 - ファーストライト・キャピタル ゼネラル・パートナー JVCA 理事

モデレーター

上田 敬 - 日本経済新聞社 編集 総合解説センター 担当部長

概要：生成 AI 技術の急速な発展により、スタートアップエコシステムは大きな転換期を迎えています。本セッションでは、生成 AI 分野で活躍する日本を代表するベンチャーキャピタリストが一堂に会し、投資戦略の変化、有望な技術領域、そして次世代のユニコーン企業について議論します。AI 技術の民主化が進む中で、どのような企業が市場をリードしていくのか、投資家の視点から最新の動向と将来展望を探ります。

11:00-11:50

[パネル] 生成AIと地方創生のフロンティア ~農業・観光・行政の変革シナリオ

A220

登壇者

守本 憲弘 - 兵庫県南あわじ市 市長

杉田 浩章 - ホストンコンサルティンググループ シニアアドバイザー 早稲田大学 ビジネススクール 教授

桐谷 直毅 - LocationMind Founder/代表取締役CEO

モデレーター

三輪 泰史 - 日本総研 創発戦略センター チーフスペシャリスト 三井住友銀行・三井住友フィナンシャルグループ 社会的価値創造推進部部长

概要：生成AIは、農業や観光といった地場産業から地方行政まで、地域社会のあり方を大きく変えつつあります。本セッションでは、行政・経営・デザインなどの視点から、地方創生における生成AI活用の可能性と課題を議論し、実践と戦略を交差させながら、持続可能な地域の未来像を描きます。

13:00-13:50

[パネル] 金融データルネッサンス ~金融庁官民フォーラムが目指すAI活用の未来

A230

登壇者

松永 圭司 - 三井住友フィナンシャルグループ デジタル戦略部長

池田 肇 - 野村ホールディングス 執行役員 デジタル・カンパニー長兼ウェルス・マネジメント部門マーケティング担当

佐藤 市雄 - SBIホールディングス AI・デジタル戦略推進部 戦略企画グループ長 兼 データサイエンスグループ長 金融データ活用推進協会 (FDUA) 理事 兼 企画出版委員長

島崎 征夫 - 金融庁 総合政策局 参事官

モデレーター

岡田 拓郎 - 金融データ活用推進協会 代表理事 Trust 取締役会長

概要：生成AIの進化は、膨大で複雑な金融データを新たな価値へと変える力を持っている。6月に第1回を開催した金融庁AI官民フォーラムは、AIのユースケースおよびガバナンス構築に向けた取り組み事例の共有や規制の適用関係の明確化を通じて、金融業界のチャレンジ環境の整備を図り、金融データルネッサンスと呼ぶべき未来を見据えている。

14:00-14:20

[単独講演] 広島AIプロセスから次のステージへ ~日本が描く経済、社会、教育の戦略

A240

登壇者

村井 英樹 - 自由民主党 衆議院議員

概要：いま、世界はAIをめぐる競争のただなかにあります。しかし、日本が目指すのは単なる競争優位ではなく、“人間のためのAI”という“未来像”です。広島AIプロセスから始まった挑戦をこれからどのように経済、社会、教育へとつなげていくのか。その青写真を描き、共有します。

14:30-16:00

インパクトピッチファイナル

A250

ファイナリスト10社

GVA TECH株式会社

山本 俊 - GVA TECH 代表取締役

株式会社Acompany

竹之内 隆夫 - Acompany 執行役員VP of Public Affairs プライバシーテック協会 事務局長

株式会社こんにちハロー
早見 泰星 - こんにちハロー 執行役員CSO

株式会社フツパー
大西 洋 - フツパー 代表取締役兼CEO

Felo株式会社
趙 洪斌 - Felo CMO

Idein株式会社
中村 晃一 - Idein 代表取締役/CEO

株式会社データグリッド
岡田 侑貴 - データグリッド 代表取締役CEO

Polimill株式会社
谷口 野乃花 - Polimill 代表取締役COO(最高執行責任者)

株式会社デジタルレシビ
伊藤 新之介 - デジタルレシビ 代表取締役 CEO

FastLabel株式会社
鈴木 健史 - FastLabel 代表取締役CEO

審査員
富原 早夏 - 経済産業省 イノベーション・環境局 イノベーション創出新事業推進課 スタートアップ推進室長
佐野 尚志 - 三菱 UFJ イノベーション・パートナーズ Chief Investment Officer
岡田 拓郎 - 金融データ活用推進協会 代表理事 Trust 取締役会長
柴山 重久 - 日本経済新聞社 編集 総合解説センター シニア・プロデューサー

概要：生成AIでこんな社会課題を解決できるという若いスタートアップが集結。60を超える応募から選ばれた10社のスタートアップが最優秀賞「日経賞」を目指して各社3分のプレゼンを実施。審査員からの厳しい質問を経て、栄冠を勝ち取るのはどこか！

16:10-17:00

[パネル] グローバルAIエコシステム ～人材・社会・生活をつなぐ新基盤

A260

登壇者

味澤 将宏 - Meta日本法人 Facebook Japan 代表取締役

山川 宏 - 東京大学 主幹研究員 全脳アーキテクチャ・イニシアティブ 代表

東條 英俊 - Anthropic Japan 代表執行役社長

モデレーター

庄司 昌彦 - 武蔵大学 社会学部メディア社会学科 教授 武蔵学園 データサイエンス研究所 副所長

概要：世界各地の最先端人材が集結するAI開発の最前線と、その成果と社会や生活を結びつけるグローバルエコシステムのあり方を議論し、AGI時代を見据え、技術を人間中心の価値創造へと昇華させる基盤づくりを探ります。

17:10-18:00

[パネル] 日本での自動運転とモビリティDX実装の展望と課題

A270

登壇者

加藤 真平 - ティアフォー 代表取締役 執行役員 CEO

加藤 忍 - Via Mobility Japan カントリーマネージャー

鈴木 健史 - FastLabel 代表取締役CEO

モデレーター

小泉 裕之 - 日本経済新聞社 NIKKEI Mobility編集長

概要：日本で自動運転の実証実験が相次いでいる。安全性の確保とビジネスモデルの確立を両立させ、自動運転サービスの社会実装が進むことは、運転手不足や、地方における公共交通、物流の維持という社会課題解決につながる。民間と政府の取り組みの現状と、解決すべき課題を議論する。

18:10-18:40

インパクトピッチ表彰式

A280

セッション情報は2025/10/07現在の情報です。

今後の状況により変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

シンポジウム Hall A: 3F パンケットホール真珠			ワークショップ Hall B: 3F 茜			リバースピッチ Hall C: 201 櫻
10月6日 (月)	10月7日 (火)	10月8日 (水)	10月6日 (月)	10月7日 (火)	10月8日 (水)	10月8日 (水)

ワークショップ Hall B: 3F 茜

10月6日 (月)

11:00-12:00

女性活躍の視点からみる生成AI時代の人的資本戦略 powered by 生成AI活用普及協会 (GUGA)

B001

登壇者

國本 知里 - Cynthialy 代表取締役 Women AI Initiative Japan 代表理事

モデレーター

小村 亮 - 生成AI活用普及協会 (GUGA) 業務執行理事 兼 事務局長

概要：生成AIの台頭は、業務効率化にとどまらず、人材育成やキャリア形成にも大きな影響をもたらしています。本セッションでは、女性活躍の視点から生成AIの可能性を捉え、組織の多様性を促進する人的資本戦略について議論します。出産をはじめライフイベントとキャリアが強く結びつく女性の立場からみた労働市場の変化や、多様な人材が活躍できる組織の実現に向けたヒントをお届けします。

13:00-13:45

MUFG×OpenAI—MUFGのAI戦略投資600億円の全貌と大企業変革のリアル powered by MUFG※アーカイブ配信は実施いたしません。

B010

登壇者

佐々木 聖治 - OpenAI Japan 執行役 事業開拓統括

多木 嘉一 - 三菱UFJ信託銀行 執行役員 デジタル戦略部長

岩田 廉平 - 三菱UFJ銀行 デジタル戦略統括部 部長

モデレーター

島野 浩平 - 三菱UFJ銀行 デジタル戦略統括部 AI・データ推進Gr 次長

概要：MUFGでは全社員が当たり前AIを使いこなす組織を目指し、グループ全体15万人以上の社員を対象にAI利活用促進の全社運動「Hello, AI@MUFG」の取組を進めているほか、トップダウンで事業変革に資するAI活用ユースケースを60件以上推進しています。本セッションではMUFGとOpenAIがディスカッション形式で今までの取組について振り返るとともに、国内大企業ならではのAI導入・浸透の壁と突破口、そしてAI活用/AIエージェントの業務適用に向けた課題・展望について語ります。

14:00-14:45

MUFGとAIスタートアップが挑むAI Nativeな業務基盤戦略 powered by MUFG

B020

登壇者

松本 勇氣 - LayerX 代表取締役 CTO

松森 匠哉 - Carnot Founder and CEO

牧 真央 - 三菱UFJ銀行 デジタル戦略統括部 調査役

平林 一輝 - 三菱UFJ銀行 デジタル戦略統括部 調査役

モデレーター

青木 匠 - 三菱UFJ銀行 デジタル戦略統括部 調査役

概要：「AI Nativeな組織への変革」に挑む三菱UFJ銀行は、AIエージェント元年の今年、「すべての経済活動を、デジタル化する」LayerXと「戦略的パートナーシップ」を締結、「最先端を企業と人々の日常にする」Carnotと汎用業務向けAIエージェント基盤として「Jinba」の導入および新技術の共同開発を推進中。2社のAIトップランナーとのアライアンスの狙いについて初めて語る。

16:00-18:00

[<招待制>※一般の方は聴講できません] ラウンドテーブル 保険ビジネスのサプライチェーン 全てのAIエージェント導入に向けて powered by アフラック

B030

登壇者

島崎 征夫 - 金融庁 総合政策局参事官

三浦 知宏 - 金融庁 監督局 銀行第一課長

楠 正憲 - デジタル庁 デジタル社会共通機能グループ 統括官

山川 宏 - 東京大学 主幹研究員 全脳アーキテクチャ・イニシアティブ 代表

岡田 淳 - 森・濱田松本法律事務所外国法共同事業 パートナー弁護士

桑原 茂雄 - GenerativeX 執行役員 CDXO

佐野 長紀 - PKSHA TechnologyAI Research & Solutionカンパニー カンパニー執行役員 兼 カンパニーヘッド AlgoNaut代表取締役

増山 尚志 - 日本生命保険 常務執行役員

新井 健一 - 明治安田生命保険 常務執行役

ウルゲン・フィゲン - 第一生命ホールディングス Group Chief Data & AI Officer

岸 和良 - 住友生命保険 エグゼクティブ・フェロー デジタル共創オフィサー

本山 智之 - 三井住友海上火災保険 専務執行役員 MS&ADインシュアランスグループ ホールディングス 執行役員 グループCDO

木村 将之 - SOMPOホールディングス グループCo-CDO 執行役員常務

二見 通 - アフラック生命保険 取締役専務執行役員・CTO (チーフ・トランスフォーメーション・オフィサー)・CDIO(チーフ・デジタル・イン
フォーメーション・オフィサー)

ハウレット・デミヨン - アフラック生命保険 執行役員

高橋 直子 - アフラック生命保険 執行役員

白羽 隆浩 - アフラック生命保険 執行役員

モデレーター

柳川 範之 - 東京大学 大学院経済学研究科 教授

岡田 拓郎 - 金融データ活用推進協会 代表理事 Trust 取締役会長

概要：生成AIの急速な進化により、AIは単なるツールから、「AIエージェント」と呼ばれる仕事・生活のパートナーとしてのステータスを確立しつつある。生涯設計、保険プラン、申し込み、契約保全、支払いを一気通貫でAIエージェントが対応する場合、制度改革にも踏み込んだ対応が必要となる見込みだが、どのように変化・進展を遂げるべきか、議論する。

シンポジウム Hall A: 3F パンケットホール真珠			ワークショップ Hall B: 3F 茜			リバースピーチ Hall C: 201 櫻
10月6日 (月)	10月7日 (火)	10月8日 (水)	10月6日 (月)	10月7日 (火)	10月8日 (水)	10月8日 (水)

ワークショップ Hall B: 3F 茜

10月7日 (火)

11:10-12:00

[対談] 生成AI meets 因果推論

B050

登壇者

和泉 潔 - 東京大学大学院 工学系研究科・教授 Simulacra Inc. 技術顧問

副島 豊 - SBI金融経済研究所 研究主幹 SBIホールディングス AIデジタル戦略推進部、プロジェクトコーディネーター

因果推論やRCT（ランダム化比較試験）、A/Bテストは、様々なビジネスをはじめ、医療や教育、社会保障、雇用政策など多様な社会経済政策で活用されている。近年、生成AIと因果推論の技法が融合し、生成AIが蓄積した莫大な情報を因果推論に活用したり、人間が因果をどう認知しているかを検証する技法が発展している。SBI金融経済研究所が「因果推論の最前線」特集号として機関誌で取り上げており、その内容を企画者と寄稿者の対談で紹介する。

13:00-14:20

スタートアップSHOWCASE

B060

登壇企業

株式会社EpicAI

株式会社アンドエーアイ

株式会社ito

株式会社アウトバーン

株式会社AI光

Zaimo株式会社

テックタッチ株式会社

Legal AI株式会社

クレイ・テクノロジー株式会社

株式会社POCKET RD

株式会社日本AIコンサルティング

Irwin&Co株式会社

SUMMYS VENTURES SDN. BHD.

株式会社みんなぐ

概要：ベンチャーキャピタル・投資家、スタートアップ必見のプログラム。AI分野で成長が期待されるスタートアップの連続プレゼンテーション。プレゼンの後にはネットワーキングも！

14:40-15:40

生成AIを活用した次世代モダナイゼーション戦略～「2025年の崖」を好機に変える、攻めのDX～ powered by 金融IT協会 (FITA)

B070

登壇者

植松 哲也 - 大和総研 専務取締役 金融システム事業本部長 金融IT協会 (FITA) 理事 兼 モダナイゼーション委員長

木下 博昭 - ニッセイ 情報テクノロジー 執行役員 保険プロダクト・サービス事業部 担当 次期システム推進室 審議役 委嘱

山口 省蔵 - 金融IT協会 理事長 金融経営研究所 代表取締役所長

モデレーター

湯山 敬太 - Trust 代表取締役社長 / Co-Founder 金融IT協会 (FITA) モダナイゼーション委員長代行

16:30-17:50

生成AIエージェント開発・導入のベストプラクティス powered by GenerativeX ※ 後半実施の「グループワーク」は定員制で事前登録が必要です。

B080

登壇者

上田 雄登 - GenerativeX 取締役 CAIO

概要：金融業界におけるAIエージェント活用は、今まさに本格化のフェーズを迎えています。一方で、既存システムや運用面での課題から、多くの企業が本番化にあたってのボトルネックになっているのも実情です。本ワークショップでは、最新のユースケースをもとに、成果を上げる企業がどのように課題を乗り越え、全社展開に結びつけているのかをご紹介します。さらに、AIを活用したコーディング実演を通じて、エージェント開発の具体的なプロセスも含め、体系的にお届けいたします。【主なトピック】・AIエージェントの最新ユースケー

ス・全社にスケールさせるための導入アプローチ・既存システムと安全かつ柔軟につなぐ「MCP (Model Context Protocol)」の活用・
全社をつなぐ「エージェントプラットフォーム」の構築

シンポジウム Hall A: 3F パンケットホール真珠			ワークショップ Hall B: 3F 茜			リバースピッチ Hall C: 201 櫻
10月6日 (月)	10月7日 (火)	10月8日 (水)	10月6日 (月)	10月7日 (火)	10月8日 (水)	10月8日 (水)

ワークショップ Hall B: 3F 茜

10月8日 (水)

11:00-12:00

Good bye SEO? ～生成AI時代のWebマーケ新常識 powered by 生成AI活用普及協会 (GUGA)

B100

登壇者

小笠原 羽恭 - Sales Marker 代表取締役CEO

田中 宏明 - オプト AIソリューション開発部部长

野呂 健太 - ベクトル 執行役員兼グループCTO オフショアカンパニー 代表取締役

モデレーター

小村 亮 - 生成AI活用普及協会 (GUGA) 業務執行理事 兼 事務局長

生成AIの登場により、検索や情報発見のプロセスは従来のSEOを前提とした枠組みから大きく変化し始めています。本セッションでは、広告・営業・マーケティングの第一線で活躍する専門家が、生成AI時代の顧客接点の新常識と実務への影響を多角的に議論します。企業が直面する課題とチャンスを整理し、次世代Webマーケティング戦略のヒントを提示します。

13:30-14:20

大和証券グループが生成 AI で切り拓く金融の未来 ～生成AIチャットとレガシー刷新～ powered by 大和証券グループ

B110

登壇者

菅野 祐太郎 - 大和総研 デジタルソリューション研究開発部 シニアグレード

下野 将己 - 大和総研 プロダクトソリューション部 主任データサイエンティスト

金融業界では生成AIの活用が急速に進展し、実業務への適用も広がりを見せています。本セッションの第一部では、各投資家に寄り添ったアドバイザーをAIが担う未来を目指し、大和証券グループが開発を進める生成AIチャットの構想や機能概要を、システム開発者の視点から解説します。第二部では、多くの企業が抱えている課題である、レガシーシステムのマイグレーションについて、AIエージェントを活用した革新的なアプローチをご紹介します。

14:40-15:30

ビジネス情報 × 生成AI ～日本経済新聞社が拓く、情報活用の新時代～

B120

登壇者

藤原 祥司 - 日本経済新聞社 情報サービスユニット NIKKEI KAI 事業責任者

生成AI技術の進化は、企業の業務効率化を大きく後押ししています。しかし一方で、情報収集や分析、さらには意思決定が求められる場面においては、正確性や深度の確保といった課題も指摘されています。本セミナーでは、こうした課題に対する解決策として、日本経済新聞社が提供する生成AI活用型ビジネス情報サービス「NIKKEI KAI」の取り組みとアプローチをご紹介します。

16:10-17:10

知財戦略の未来予言：生成AIが描く10年後 powered by トヨタテクニカルディベロップメント AI Samurai

B130

登壇者

気田 健久 - ジェイテクト/イノベーション本部 研究開発センター 研究統括部/知的財産部・部長 (統括)

檀野 隆一 - トヨタコネクティッド 先行企画部 エグゼクティブエキスパート/弁理士

加藤 広章 - トヨタテクニカルディベロップメント/IP事業本部 チーフテクノロジーリーダー

モデレーター

白坂 一 - AI Samurai 代表取締役 弁理士法人白坂 創業弁理士

概要：生成AIにより、知財業務は人間だけが担う天動説から生成AI主導の地動説へ変革を迎えようとしています。生成AIはアイデアの発見や評価支援、書類作成を担い、人間は創作と戦略判断を担当する時代に。発明創出、特許調査、権利活用は10年後にどのように変貌するのか。トヨタ関連会社3名とモデレーターの白坂一が、知財実務、権利化後の活用、次世代への発明教育への影響を議論し、AIと人間の協働で知財価値を最大化する未来像を提示します。

シンポジウム Hall A: 3F パンケットホール真珠			ワークショップ Hall B: 3F 茜			リバーСПitch Hall C: 201 櫻
10月6日 (月)	10月7日 (火)	10月8日 (水)	10月6日 (月)	10月7日 (火)	10月8日 (水)	10月8日 (水)

リバーСПitch Hall C: 201 櫻

10月8日 (水)

11:00-11:55

GenAI/SUM VCリバーСПitch 第一部

C001

登壇者

野間 円 - 東京大学エッジキャピタルパートナーズ (UTEC) アソシエイト

真島 里帆 - ファーストライト・キャピタル プリンシパル

池田 愛和 - ディープコア 投資事業部 アソシエイト

長野 泰和 - ANOBAKA 代表取締役社長

佐藤 可奈子 - 三菱UFJイノベーション・パートナーズ 上席主任

モデレーター

上田 敬 - 日本経済新聞社 編集 総合解説センター 担当部長

概要：VCリバーСПitchは、通常のPitch（スタートアップがVCにプレゼン）とは逆に、複数のベンチャーキャピタル（VC）が登壇し、スタートアップに向けて投資方針や実績などを説明するセッションです。今回はAI領域に特化し、各VCが「どのようなAIスタートアップに投資したか」「今後、どのような企業を求めているか」を説明します。スタートアップにとっては、自社に適したVCを見つける機会となります。交流の場も設けます。

13:00-13:55

GenAI/SUM VCリバーСПitch 第二部

C010

登壇者

原 雄二 - アポロ・キャピタル 取締役パートナー

森 美桜乃 - Eight Roads Ventures Japan Associate

安西 潔 - ベガサス・テック・ベンチャーズ・ジャパン パートナー兼COO

モデレーター

上田 敬 - 日本経済新聞社 編集 総合解説センター 担当部長

概要：VCリバーСПitchは、通常のPitch（スタートアップがVCにプレゼン）とは逆に、複数のベンチャーキャピタル（VC）が登壇し、スタートアップに向けて投資方針や実績などを説明するセッションです。今回はAI領域に特化し、各VCが「どのようなAIスタートアップに投資したか」「今後、どのような企業を求めているか」を説明します。スタートアップにとっては、自社に適したVCを見つける機会となります。交流の場も設けます。

セッション情報は2025/10/7現在の情報です。

今後の状況により変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。